



# 島 特 通 信

発行 R8.3.19  
島尻特別支援学校  
校長 岡越 猛

## 令和7年度のお礼

令和8年3月19日、3学期が修了し、令和7年度を保護者等及び関係各位のご理解とご協力のもと終えられることに感謝申し上げますとともに、校長としてとてもうれしく思います。

令和7年度を振り返ってみますと、「暑かった」とてつもなく「暑かった」につきるかと思います。幼児児童生徒には、暑い1学期から2学期にかけて老朽化によるクーラーの故障の影響により体調不良や心身の不調等、本当に申し訳ない思いでいっぱいです。それでも、島尻っ子は元気よく笑顔いっぱい活動してくれたことに、心から「ありがとうございます」の感謝の気持ちを伝えます。

卒業する皆さん、そして進級する皆さん、卒業・進級おめでとうございます。

特に高等部3年生においては、長かった学校生活を修了（卒業）することになります。一人一人の本校での学んだ年数や進路はそれぞれ異なりますが、本校で培ったたくさんの経験をこれからの、社会生活・職業生活・家庭生活で生かしてほしいと思います。

高等部を卒業する皆さんに、校長先生の好きな詩「別れの季節（宮沢章二作）」の特に好きな部分を送ります。

<成長したね> という言葉に 嘘はない <これからだね> というのも 正直な言葉  
<がんばれよ> と励ましてくれる言葉を 素直に信じて 前進を心に誓う季節  
強く 健やかに育ってゆく 私たちの精神

卒業して、涙を流すこともあるでしょう。でも、1人じゃない、友達がいる、支えてくれている人がいる、お父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんがいる。決して1人じゃない。

中学部を卒業する3年生は、中学部までの義務教育と異なり責任が伴います。自分で選んだ進学やその他の進路について、自分の力で解決していけるようにしましょう。また、高等部3年生になると成人を迎えることになります。そのため、先生や保護者等との関係性も高等部卒業後の将来を見据えて、自分で選択していく等の変容が必要です。集団生活への適応力を向上させ、社会的な規範・規律、自己選択・自己決定など、これまでよりも更に自分で考え行動することが求められます。

小学部を卒業する6年生、中学部では、小学部と違って英語や国語・数学の先生が、授業を担当します。そして、学習する内容も多くなったり難しくなったり、体力が必要だったり学習環境の変化に戸惑うこともあるかも知れません。一步一步、成長することに期待します。

卒業生だけでなく、進級する幼児児童生徒の皆さん、本校のモットーである「自愛 友愛 博愛」を心にとめ、令和8年度も学校生活や社会生活を共に楽しく元気に頑張ることを校長先生は願っています。

島尻特別支援学校の幼児児童生徒、保護者等と接する中で常日頃から感じていることがあります。それは、「心」は誰にも見えないけれど「心づかい」は見える。「思い」は見えないけれど「思いやり」は誰にでも見える、ということです。同級生同士の関わり、先輩から後輩への関わりなど島尻特別支援学校の幼児児童生徒の素晴らしさにいつも感心と感謝をいただきます。

保護者等におかれましても、多数の授業参観やPTA活動等への協力を頂きました。お礼申し上げます。引き続き「心づかい」と「思いやり」のある連携協力を賜りたいと思います。

## 令和8年度の学校運営に係る理解と協力をお願いしたいこと

### 1 医療的ケアの新体制への協力（保護者待機・手技伝達期間について）

- \* 対象児童の増加により、現行の看護師9名体制から12名へ（うち6名が新規）となる
- \* 養護教諭3名へ増員となったが、3名とも新職員となる
- \* 保護者待機緩和や手技伝達等に相当数の期間を要します。ご理解とご協力をお願いします。

### 2 教職員の働き方・学校のブラック企業化への対策についてのご理解

- \* 勤務時間は、8：30～17：00 電話対応・電子連絡等への協力
  - \* SNS、Line等や職員個人携帯でのやり取りについては、原則禁止
  - \* 過度な要求・要望、理不尽な内容と捉えられる言動等は、厳に慎んで下さい
- ※2学期末にも周知しましたが、2025年6月改正労働施策総合推進法の成立により学校においても「職員の安全配慮義務・健康配慮義務」があり、カスタマーハラスメント対策が講じられます。

### 3 R7・R8年度 ○教育活動・内容について（重点事項）

- \* 自己選択・自己決定・自己判断する力の育成
- \* 道徳の指導や特別活動を重視し学級担任による児童生徒の心身の成長、内面の成長を通して、将来社会生活に必要な力の育成（キャリア教育・進路指導）の充実と就労選択支援への対応
- \* 居住地交流の推進
- \* 就学の見直しの推進（小中学校への転校や訪問学級への移行等）固定した就学とならないこと
- \* 中学部の進路指導や高等部段階の進路変更等への早期対応

### 4 クーラー工事→ R8. 7月以降 教室LED化工事 R8. 9月以降

- \* 老朽化のため、工事が令和8年度途中から入り、学校教育への支障が想定されます（R8年度9月の始業は2週目を予定）

### 5 情報端末等利用した、連絡体制の体系化・導入 「RAKUME」試行期間を含めた開始予定

- \* バスロケーションシステム、欠席連絡、その他連絡調整、公文発送（お知らせ）等
- \* 連絡帳のあり方（子どもに集中する時間の確保）

### 6 私費負担（学校取扱金等）の見直しについて、 保護者等と議論を深めていきたい

- \* 制服等検討委員会（保護者+学校）の設置（制服等の高騰による影響が大きい）
- \* 修学旅行の参加や実施の是非やあり方についての検討（保護者等の自己負担が非常に増である）

## R7年度学校評価のお礼

### ○学校評価（3月末にHP掲載します）

- \* 多くの保護者、生徒から回答を得ました。児童生徒・保護ともに「学校はルール・マナーを教えている」「学校行事は楽しい」が共通する「良好な評価」91～92%となりました。
- \* 一方、教職員は「ゆとり（裁量ある）の時間の確保」に全学部共通の課題、保護者は「PTA活動」児童生徒は「相談している」「児童会・生徒会への参加感」が改善項目となりました（30%、4%、9～11% 「わからない」が多い項目があった点も改善事項となります。
- \* 2月24日に行われた「学校評議員会」で報告すると共に各委員より貴重なご意見を賜りました。

よりよい学校教育が展開されるためには、よりよい教職員が必要であり、保護者等との関係性がとても大切です。保護者等の皆様が、本校のよき理解者であり、一番の支援者であることに感謝申し上げます。